

カトリック河原町教会だより

2012年4月

小立花 忠 神学生 助祭に叙階される



披手により助祭に叙階



諸聖人の取り次ぎを願って連願

助祭叙階の恵みを受けて

ヨハネ・マリア・ヴィアンネ 小立花 忠
3月24日、神様から助祭叙階のお恵みをいただきました。皆様方の熱心なお祈りを受けとられた神様の御心が動いたのだと思います。河原町教会出身の受階者は20年ぶりだとお聞きしました。

今、その重さを受け止めています。これから一年間、また東京の神学院へ行き、研鑽を積んでいきます。引き続き、神学生のためにお祈りください。よろしくお願ひします。

《小立花 忠 助祭プロフィール》

1968. 9. 22 プロテスタントとカト

リックの両親のもとに生まれる

2001. 4. 14 受洗

2004. 4. 1 日本カトリック神学院入学

2012. 3. 24 助祭叙階



3月24日午前11時から小立花忠神学生の助祭叙階式が、河原町教会聖堂でパウロ大塚喜直司教によって、とり行われました。花井神父ほか京都教区司祭団、カトリック神学院牧山強美院長等による厳かな司式となりました。当教会出身の助祭受階者は20年ぶりのことで、約280名の参列者とともに助祭の誕生を喜び、祝し、祈りを捧げました。叙階式では候補者の選出、説教、受階者の約束、諸聖人の連願、按手と叙階の祈り、福音書の授与が行われました。小立花助祭はこれからさらに一年間、東京の神学院で学ばれます。

聖霊のご降臨

5月27日は聖霊降臨の主日です。キリストの復活後40日目に主の昇天を祝い、50日目に聖霊降臨を祝います。聖霊降臨にはいくつかの大切なポイントがあります。①キリストの過越である受難、死、復活が完成されたということ。②唯一の神が三位一体であることが完全に啓示されたということ。父である神が子であるイエスをこの世に送り、イエスが世で御父を告げ知らせ、そして死んで復活して御父のもとに還り、御父がイエスとともに聖霊をわたしたちに送られたということです。③神の愛が授与されたということ。聖霊とは、御父と御子イエスとの父と子の絆そのものです。神は愛ですから、聖霊をわたしたちに送ったということは、愛を送ったと



いうことです。愛とは、わたしたちの努力で得たものではなく、神からの恵みです。その愛をいただいて、わたしたちは神の子として生きていけるのです。④イエスが聖霊を弟子たちに送るという約束が実現し、教会が誕生したということ。弟子たちは聖霊によって神の愛に満たされる経験を通して、根本的に造り変えられました。イエスの弟子であるわたしたちにも聖霊が遣わされて、わたしたちのうちに住んでおられます。そのわたしたちが教会だということです。教会は神のわざであり、その頭はイエスであり、そして聖霊がいつも導いています。教会はわたしたち人間が神と出会っていることを表すしるしですから、聖霊をいただいているわたしたちは、その見えるしるしになることが求められるでしょう。

四旬節黙想会

わたしたちを信頼してくださる神を信頼する

澤田 豊成 神父・聖パウロ修道会



洛東ブロック主催の四旬節黙想会が3月17日(土)に河原町教会聖堂で行われました。雨模様の中およそ130人の方が参加され、10時から16時までの比較的長時間でしたが、四旬節にふさわしい静かな黙想の一日となりました。指導司祭

は聖パウロ修道会の澤田豊成神父様でした。

午前と午後の2回の講話で、今年10月から始まる「信仰年」を迎えるにあたり、今年朗読されているマルコ福音書全体をひもときながら、わたしたちに多くの黙想のヒントをくださいました。マルコ福音書には、イエスの教えと人々の理解がかけ離れていることが明確に描かれています。ペトロをはじめ弟子たちは目に見えるイエスの栄光に重きを置き、「人間の思い」にとらわれています。十字架に向かうイエスこそ「神の子」としての栄光です。神はそれを信じ、聞き従うことを弟子たちに望まれましたが、彼らは受け入れられなかったのです。マルコ福音書は、そのような弟子たちの姿を記し、同じようにイエスに従い切ることができないわたしたちに慰めと励ましを与えてくれます。マルコが読んでほしいと望んでいる相手は、後の弟子たち、つまりわたしたちなのです。どんどん先を進んで行かれるイエスは、復活後、

必ず弟子たちが自分の言葉と行いを思い起こし、後を追って来るはずだという信頼を持っておられます。弟子たちは先に行かれるイエスを追い求めながらも、何度も失敗し、何度もガリラヤから歩みを繰り返すこととなります。そのような弟子たち、つまりわたしたちをまず信頼し、今もあきらめず信頼し続けてくださる神がいるからこそ、わたしたちは神を信頼して生きていけるのです。

それでもなおわたしたちは死に至るまでやり直すことができる、それがマルコのメッセージです。わたしたちが生きる歩みの中で、神が招き寄せ、先に歩みながら働きかけてくださっていることを思い起こして、神に従っていく決意を新たにしたいものです。

講話の後、個人黙想の間、澤田神父様、村上神父様、鶴山神父様によるゆるしの秘跡が授けられました。「ゆるしの秘跡」は、以前は「告解」といわれ人間の側からの罪の告白に主眼があったのですが、本来は神の側からゆるしてくださることのほうに主眼があると説明があり、多くの方が「ゆるしの秘跡」を受けられました。



一致する喜び

世界祈祷日・京都集会 開催される



世界祈祷日・京都集会 カトリック河原町教会

3月2日(金)、京都府下のキリスト教の教派・団体の教派を超えて、258名の方々がカトリック河原町教会聖堂に集まり、ともに祈りのひとときを過ごしました。カトリック教会から105名の参加がありました。席上献金は177,287円でした。

今年のテーマは、マレーシアからのメッセージ「正義をきたらせたまえ」で、人々が抱える問題や痛み・痛みを心に寄せ合いました。

カトリック京都南部地区長の花井神父様は、メッセージの中で、教派を超えての「一致」の大切さを説かれ、

毎年行われている夏の比叡山での宗教者サミットに言及され、宗教者としての倫理と行動について、また、第2バチカン公会議におけるエキュメニズム(キリスト教の諸教派における一致促進運動)について話されました。

集会後、マレーシアの写真展、茶話会があり、諸団体を支援する販売コーナーも設けられました。あたたかい、和やかな、愛のあふれる交流を通して、一致する喜びを共感できた恵み多い一日でした。

世界祈祷日は、170の国や地域で毎年行われています。神を賛美し、世界中の異なった民族・文化・伝統を知り、理解を深め合い、祈りと愛をもって行動を続けています。京都では、1975年からカトリック教会も参加するようになりました。毎年3月第一金曜日に、全世界のキリスト者の女性たちが教派を超え、ともに祈りを捧げます。来年は3月1日(金)に開催され、日本ナザレン教団が当番教会となります。祈りを通して、ともに心をつなぐことができる良い機会です。来年もご参加ください。

献金は、ニューヨークにある世界祈祷日の国際委員会を通じて、マレーシアの女性たちの活動のために送金されます。



茶話会 / マレーシア写真展

司祭異動のお知らせ 《京都南部地区の異動》

ヨゼフ・マリア 村上 眞理雄 神父
 京丹ブロックから洛東ブロック協力司祭
 クアン・ニヨル・ヨハネ 崔 聖煥 神父
 洛東ブロックから京丹ブロック担当司祭
 エルメル・ディマルクト 神父 (フィリピン宣教会)
 ニュージーランドへ

村上 眞理雄 神父様 ご挨拶



わたしは、丹波教会亀岡聖堂と園部聖堂を11年間担当してきました。ドミニコ園部修道院には月曜、木曜を除いて毎朝ミサを捧げるために行っていました。信徒の皆さんやシスター方のご協力により、楽しく平和に過ごすことができたことを感謝しています。今年になって2回低血糖になり、救急車で病院に運ばれました。最後に皆さんにご迷惑をかけてしまい、申し訳なく思っています。

これから司祭として働けることを願って、洛東ブロックでのご奉仕を希望しました。皆さんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。《1929.4.13 生まれ 1955.3.21 司祭叙階》

.....

崔 聖煥 (フェ ソンファン) 神父様 ご挨拶



こんにちは。この一年間お世話になりました。担当司祭として丹波教会(亀岡)に移ることになりました。一年間頑張ってきたと思っているのですが、自分で少しもの足りないと感じるのは仕方ないですね。へたな日本語でしたが、土曜学校の子供たちと遠足、錬成会など

ともに過ごした時間はわたしの楽しい思い出です。河原町教会のみなさんに感謝します。ごミサで私のあまり上手でない日本語の説教を聞いてくださり、また親切に声をかけてくださいました。本当にありがとうございました。丹波教会でも頑張りますので、皆さんのお祈りと応援をお願いします。《1979.11.25 生まれ 韓国済州市出身 2008.1.19 司祭叙階 2010.4 来日》

2012 年度

集会司式者・聖体授与の臨時の奉仕者の任命

4月1日付で集会司式者5名、聖体授与の臨時の奉仕者11名の方が任命されました。期間は来年3月31日までの1年間です。集会司式者は、聖体授与の臨時の奉仕者の奉仕内容を兼ねることができます。聖体授与の臨時の奉仕者は、各ブロック担当司祭の認可と指導のもとにブロック内のどの小教区内でも奉仕することができます。

河原町教会4月度評議会報告

○報告事項

1) 司祭団

- ①司祭の人事異動が発表された。
 洛東ブロック
 担当司祭—花井拓夫、鶴山進栄
 協力司祭—村上眞理雄、村上透磨
- ②集会司式者・聖体奉仕者が任命された。(別掲)
- ③集会祭儀、両形態の拝領、共同回心式等の説明

○協議事項

- 1) ミサ時間変更に伴い、日曜受付の担当時間を10時から12時とする。
- 2) 『典礼聖歌』購入
 - ①4月15日より、聖歌のプリントではなく、『典礼聖歌』を使っていた。
 - ②教会備品も用意するが、自分のものをお持ちいただく。
 - ③土曜夕方、日曜7時のミサでも、歌えるように検討していく。
- 3) 教会美化デー：4月29日(日)
 - ①7時ミサ後…聖堂、殉教者の間の椅子の拭き掃除、集会室の机、椅子の拭き掃除
 - ②10時半ミサ後…ヴィリオンホールのテーブル、椅子の拭き掃除
- 4) 教区新受洗者のミサ：5月6日(日) 14時
 この一年間に受洗された方に案内を出す。
- 5) 洛東ブロック会議：5月26日(土) 14時
 - ①ブロック宣教司牧計画の作成
 司教年頭書簡の実践具体策を検討
 各部会でも検討し、提案する。
- 6) 平和旬間行事：8月12日(日)
 - ①1回目の準備会を5月20日に行う。
 各部会で委員を選出
 - ②ブロック行事としてできるかどうか検討する。
- 7) 部会報告
 - ①施設管理部：前庭工事
 いろいろな工法を検討中、早くできるよう進める。
 - ②教育部：四旬節黙想会・教区侍者合宿報告

●2012年4月15日～7月の行事予定●

4/15	日	復活節第2主日(神の慈しみの主日)	子供初聖体 パーティー
4/29	日	復活節第4主日	教会美化デー
5/6	日	復活節第5主日/教区新受洗者のミサ 14:00	河原町教会評議会5月例会
5/27	日	聖霊降臨の主日/南部地区合同堅信式 14:00	
6/3	日	三位一体の主日	河原町教会評議会6月例会
6/10	日	キリストの聖体	
6/17	日	年間第11主日/結婚誓約更新ミサ 10:30	
6/24	日	大塚司教・花井神父 霊名のお祝い (10:30ミサ)	衣笠墓地清掃(1回目)
7/1	日	年間第13主日	河原町教会評議会7月例会
7/29	日	年間第17主日	教会美化デー

聖歌の練習始まる

主日の10時半のミサの前に、信徒の皆さまとともに聖歌の練習を行っています。約5分間、当日のミサで歌う聖歌から1、2曲練習します。「聖歌を歌う人は2倍祈る」と言われています。ぜひ大きな声で聖歌を歌いましょう。『典礼聖歌』を使っています。教会では200冊用意しましたが、ご自分の『典礼聖歌』をお持ちになることをおすすめします。典礼聖歌には心に響くことばが満ちています。聖堂が皆さまの歌声であふれますように。(河原町教会聖歌隊 東)



明治村旧聖堂訪問と多治見修道院見学 巡礼バスツアー



旧聖フランシスコ・ザビエル聖堂

- 日時：6月2日(土)8時 河原町教会集合
- 主なコース：多治見修道院見学
明治村旧河原町教会天主堂見学 ミサ
(昼食は多治見オースタッドホテル)
- 参加費：7,000円(昼食代、明治村入場料含)
- 主催：河原町教会ぶどうの会

河原町教会初代の聖堂は1890年(明治23年)に建てられ、1967年の建て替えにより、愛知県犬山市にある明治村博物館に保存されています。今回の巡礼ツアーではこの天主堂を訪れ、ミサを捧げます。

日曜日 ミサ後のティータイム…語らいのひとときを

一階の集会室で日曜日10時半のミサ後、信徒の皆さんが協力し合ってお茶とお菓子の接待をしています。ミサの後のひととき、楽しい語らいとおふれあいのティータイムをお楽しみください。

次のグループの方が毎月当番で接待を担当しています。

- 第1日曜日：ガールスカウト
- 第2日曜日：入門講座 有志
- 第3、4日曜日：ぶどうの会 有志
- 第5日曜日：火曜日入門講座 有志



河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

	7:00	
	10:30 ※	
	12:00 (英語)	
月曜日	6:30	
火曜日	6:30	18:30
水曜日	6:30	18:30
木曜日	6:30	
金曜日	6:30	18:30
土曜日	6:30	
	18:30 (主日のミサ)	

※4月15日より10:30に変更

河原町教会では信仰の学びのために次の講座が開催されています。どなたでも自由に参加できます。

◆信仰入門講座

月曜日	19:15	花井拓夫神父
火曜日	10:00	花井拓夫神父
		テキスト:『キリスト教とは何か』
	19:15	ホアペール神父
金曜日	19:15	村上透磨神父

火曜日10時の入門講座は4月より新規スタートしています。キリスト教に関心をお持ちの方はどなたでもどうぞ。

◆信徒養成講座 北村善朗神父

信徒の方で信仰をより深めたい方のための講座です。

毎月1回	
4/26(木)	14:00
5/31(木)	14:00
6/28(木)	14:00
7/19(木)	14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◆聖書通読会(教育部主催)

毎週金曜日 14:30
聖書(新共同訳)を10章ずつ輪読しながら全巻を読む集いです。